

多様化するリスクから ビジネスオポチュニティを見出した企業家たち

ビジネス社会ではSDGs(持続可能な開発目標)が注目を集めています。SDGsはグローバル社会が解決すべき困り事リストであり、そこにはリスクとビジネスオポチュニティの両面が含まれています。マイケル・ポーターは、社会価値と経済価値の創出サイクルをうまく活用する企業が生き残ると指摘しました。社会価値とは社会の困り事の解決であり、経済価値とは困り事を解決するソリューションをビジネス化することです。まさに、世の中の困り事を解決することがビジネスの本質といえるでしょう。わが国企業の歴史を紐解くと、多様化するリスクに果敢に挑むことからビジネスオポチュニティを見出した事例は少なくありません。本講座では、企業家たちがどのようにリスクと向き合い、新たなビジネスを構想したのかを読み解きます。講師はイノベーション・マネジメント研究センターの研究プロジェクト「企業家史研究会」のメンバーが担当します。

【第1部】 2018年10月13日(土)

※開場は、全日13:00からです。

○13:30~14:40 生命保険事業とビジネスオポチュニティ:弘世助三郎(日本生命)

岡 靖弘(おか やすひろ) イノベーション・マネジメント研究センター客員研究員、元第一生命株式会社部長

○14:50~16:00 ハイテク技術を活用したビジネスオポチュニティ:古河市兵衛(古河鋳業)

長谷川 直哉(はせがわ なおや) 法政大学人間環境学部教授(「企業家史研究会」代表)

【第2部】 2018年11月10日(土)

○13:30~14:40 社会リスクの変化とビジネスオポチュニティ:三好武夫・後藤康男(安田火災海上保険)

片山 郁夫(かたやま いくお) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 特約火災保険部長

○14:50~16:00 戦時下のビジネスオポチュニティ:中島知久平(中島飛行機)

長谷川 直哉

【第3部】 2018年12月8日(土)

○13:30~14:40 非営利事業とビジネスオポチュニティ:ビル・ゲイツ(ビル&メリンダ・ゲイツ財団)

竹原 正篤(たけはら まさあつ) 法政大学人間環境学部特任准教授

○14:50~16:00 理念と技術革新を背景としたビジネスオポチュニティ:大原総一郎(倉敷レイオン)

長谷川 直哉

会場 法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー25階 研究所会議室5

対象 学生、一般社会人、企業経営者に関心のある方、企業広報・社史の担当者

定員 先着40名(定員に達し次第締切)

参加費 無料

申込方法

件名を「公開講座申込」とし、
氏名、所属、受講を希望する部(複数選択可)、E-mailアドレスを明記のうえ、
E-mailで法政大学イノベーション・マネジメント研究センター宛にお申し込みください。

※個人情報の扱いは厳重に管理しています。法政大学に関連するイベント開催等の通知を目的としており、それ以外の目的では使用していません。

申込先

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター
E-mail: cbir@adm.hosei.ac.jp

申込期限

【第1部】10月5日(金) 【第2部】11月2日(金) 【第3部】11月30日(金)

※ご不明な点は、下記までお問合せください。

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL:03-3264-9420

E-mail:cbir@adm.hosei.ac.jp